

【琵琶湖・淀川流域水質保全に関する検討会】

琵琶湖・淀川流域において現在起きている課題や将来的に問題となりうる課題等に対して、実態を把握し、今後の対応策の策定に資する調査・研究方法などの共有を目指し、流域内の研究機関に所属する研究者らと共に、「琵琶湖・淀川流域水質保全に関する検討会」を開催した。本年度は「幅広いプラスチックごみ問題」に関して様々な知見を共有し、意見交換を実施した。

その他、平成 26 年度に発行した「琵琶湖・淀川流域における河川環境の変遷」の更新に向けて準備的な検討を始めた。

- 参考資料 1) 国土交通省, 水文水質データベース (<http://www1.river.go.jp/>) (2025/3/3 現在)
- 2) 清水, 北海道大学博士論文, 2018
- 3) Tourlousse et al., *Nucleic Acids Res.*, 45 (4), e23, 2017
- 4) 国立科学博物館, 淡水浮遊性藍藻データベース (<https://www.kahaku.go.jp/research/db/botany/microalgae/aoko/database/0-2-10250.html>) (2025/3/3 現在)
- 5) 浅田ら, 日本水環境学会年会第 58 回福岡大会 講演要旨集, pp. 102, 2024
- 6) 京都府, 木津浄水場かび臭対応状況 (https://www.pref.kyoto.jp/kyosui/r6_5gatu_kidu_kabishuutaiou.html) (2025/3/3 現在)

2. 情報発信、啓発等

(1) 論文発表

- ・和田「難分解性有機物とは何か-難分解性有機物の研究を基にした調査・分析の手引書作成-」, 水環境学会誌, Vol. 47 (A), No. 10, p. 350~354 (2024)
- ・和田 他「琵琶湖底泥溶出試験による栄養塩および重金属の溶出フラックス評価」, 環境技術, Vol. 53, No. 6, p. 295~305 (2024)

(2) 学会・シンポジウム発表

- ・日本水処理生物学会第 60 回大会 (2024 年 11 月 兵庫開催)
類家・和田・中川 「ロングアンブリコン解析による琵琶湖南湖・湖岸域の秋～冬期の藍藻について」

(3) 社会活動等

- ・NPO 法人日中交流推進機構 中信環境投資集团有限公司創新研究院 短期研修 講義 (2024 年 11 月, 大阪)
- ・日本水処理生物学会 第 39 回水処理生物基礎講座
「生ぐさ臭・淡水赤潮の原因となる黄金藻類等の冬のプランクトンの観察・同定・培養・評価技術」講師・実習担当 (滋賀県立琵琶湖博物館 共催, 2024 年 11 月, 滋賀)
- ・(公財) 国際湖沼環境委員会 2024 年度 JICA 課題別研修「水資源の持続可能な利用と保全のための統合的湖沼・河川・沿岸流域管理」
「琵琶湖・淀川流域における水利用、水質浄化技術の紹介と水環境管理」講師 (2025 年 2 月, 滋賀)